様式第１号

2024 年　6 月　19 日

沖縄県知事　　殿

〔設置者の名称〕　　学校法人南星学園

〔代表者の役職〕　　理事長〔代表者の氏名〕中村　昌宏

大学等における修学の支援に関する法律第７条第１項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
大学等の種類 （いずれかに○を付すこと）	（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）
大学等の所在地	沖縄県中頭郡北谷町美浜１丁目５番１６号
学長又は校長の氏名	学院長　神元　正勝
設置者の名称	学校法人南星学園
設置者の主たる事務所の所在地	沖縄県那覇市天久２丁目１番１３号
設置者の代表者の氏名	理事長　中村　昌宏
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.sci-tec.ac.jp/

※ 以下のいずれかの□にレ点（☑）を付けて下さい。

☑　確認申請
　大学等における修学の支援に関する法律施行規則第５条第１項に基づき確認申請書を提出します。

☑　更新確認申請書の提出
　大学等における修学の支援に関する法律施行規則第５条第３項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点（☑）を付けて下さい。

☑　この申請書（添付書類を含む。）の記載内容は、事実に相違ありません。

☑　確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律（以下「大学等修学支援法」という。）に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☑　大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☑　申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第７条第２項第３号及び第４号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第１号	事務局・中島　康夫	098-926-1800	nakajima@sci-tec.ac.jp
第２号の１	教務部・當間　直樹	098-926-1800	naoki-toma@sci-tec.ac.jp
第２号の２	事務局・宮里　新子	098-926-1800	miyazato-s@sci-tec.ac.jp
第２号の３	教務部・當間　直樹	098-926-1800	naoki-toma@sci-tec.ac.jp
第２号の４	事務局・中島　康夫	098-926-1800	nakajima@sci-tec.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☑）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

☑　実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

☑　実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「⑵-①学外者である理事の複数配置」関係

☑　《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

□　《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

☑　客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

☑　実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

☑　《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料

☑　確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ　https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元沖縄県知事公室秘書課長 元八重山支庁長 元沖縄県公文書館館長	R4.5.7～ R9.5.6	組織運営相談役
非常勤	元国立大学法人琉球大学 農学部准教授	R4.5.7～ R9.5.6	科目計画相談役
（備考）			

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	生物工学科	夜・通信	1,088 単位時間	160 単位時間	
	環境生態学科	夜・通信	1,127 単位時間	160 単位時間	
	環境土木学科	夜・通信	1,564 単位時間	160 単位時間	
	環境建築学科	夜・通信	2,040 単位時間	160 単位時間	
	IT 総合学科	夜・通信	1,003 単位時間	160 単位時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ　https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由） 該当なし

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

授業計画書の公表方法	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。

当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学習意欲の向上及び就学指導に資すること並びに「大学等における就学の支援に関する法律」による支援対象となる学生の認定要件の確認を目的に、学修成果を総合的に判断できる指標として、全授業科目の成績評価の合計点の平均を算出し、成績の分布状況、各学生の成績を相対的に把握し適切な指導にあたる。

・成績評価部会が GPA 等の客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施について検討
・教務委員会で成績評価部会の報告を確認
・全教員に成績評価実施内容について周知
・成績評価・公表の実施
・各学生の成績を相対的に把握、適切な指導

GPA 等の客観的な指標の具体的な内容

GPA 制度を導入し、履修した授業科目ごとの成績を次のように換算して、履修したそれぞれの授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って GPA を算出。

評　価	採　点	GP
秀	90 点～100 点	4
優	80 点～ 89 点	3
良	70 点～ 79 点	2
可	60 点～ 69 点	1
不可	0 点～ 59 点	0

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 学校法人南星学園の前身となるサイ・テク・カレッジは、平成８年４月に開校し、以下の校訓を掲げている。 ○ 敬愛協同　　○創意工夫　　○初志貫徹 本校の教育指導方針は、この校訓のもとに定められている。 **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １ 社会に貢献する姿勢 ２ 職業人としての能力 ３ 専門的知識・技能を活用する能力 ４ コミュニケーション能力 ５ 情報収集・分析力 **卒業要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、本校卒業判定会議の議を経て卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名	学校法人南星学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sci-tec.ac.jp/ disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sci-tec.ac.jp/ disclosure/
財産目録	https://www.sci-tec.ac.jp/ disclosure/
事業報告書	https://www.sci-tec.ac.jp/ disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.sci-tec.ac.jp/ disclosure/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	生物工学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,768 単位時間	1,564 単位時間	136 単位時間	0 単位時間	68 単位時間	0 単位時間
			1,768 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
33 人	10 人	0 人	4 人	4 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。
当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
（概要） **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １　社会に貢献する姿勢 ２　職業人としての能力 ３　専門的知識・技能を活用する能力 ４　コミュニケーション能力 ５　情報収集・分析力 **卒業・進級要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業・進級要件の認定に基づき、本校卒業・進級判定会議の議を経て卒業・進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	3 人 （　42.9%）	2 人 （　28.6%）	2 人 （　28.6%）

（主な就職、業界等）
株式会社リウコム/航空自衛隊/琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科/島根大学生物資源科学部/生命科学科/沖縄国際大学経済学部地域環境政策学科

（就職指導内容）
- 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。
- カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））
危険物取扱者乙 4 類（3 名）/毒劇物取扱者（2 名）/食品表示検定中級（4 名）/
食生活アドバイザー2 級（4 名）/中級バイオ技術者認定試験（7 名）/
日本語ワープロ検定試験 2 級（4 名）/情報処理技能検定試験表計算 2 級（2 名）/
ホームページ作成検定（1 名）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
カウンセリングや学生・保護者・担任による三者面談を行う中で、学生に適切な指導・助言・相談等を行っている。

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">環境生態学科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1,837
単位時間</td><td>1,275
単位時間</td><td>136
単位時間</td><td>188
単位時間</td><td>238
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1,837 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
33 人	22 人	0 人	4 人	4 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。
当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
（概要） **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １　社会に貢献する姿勢 ２　職業人としての能力 ３　専門的知識・技能を活用する能力 ４　コミュニケーション能力 ５　情報収集・分析力 **卒業・進級要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業・進級要件の認定に基づき、本校卒業・進級判定会議の議を経て卒業・進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 （100%）	1 人 （　6.7%）	13 人 （　86.7%）	1 人 （　6.7%）

（主な就職、業界等）
OIST 細胞分裂動態ユニット/株式会社沖縄環境保全研究所/
株式会社コープ沖縄サービス/(株)米須釣具 シーランド/株式会社沖縄環境科学研究所/
株式会社夢真（沖縄出張所）/公益財団法人沖縄こどもの国/株式会社開邦工業/
沖縄ウコン堂株式会社/株式会社ワークショップリゾート/株式会社ティダシステム/
医療法人陽心会大道中央病院/島根大学生物資源科学部生命科学科

（就職指導内容）
- 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。
- カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））
乙種 4 類危険物取扱者（3 名）/乙種 3 類危険物取扱者（1 名）/
乙種 5 類危険物取扱者（1 名）/乙種 6 類危険物取扱者（1 名）/
毒物劇物取扱者（1 名）/日本語ワープロ検定 2 級（4 名）/
日本語ワープロ検定 3 級（1 名）/情報処理技能検定表計算 2 級（2 名）/
情報処理技能検定表計算準２級（1 名）/オープン・ウォーター・ダイバー（3 名）/
潜水士（1 名）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
カウンセリングや学生・保護者・担任による三者面談を行う中で、学生に適切な指導・助言・相談等を行っている。

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">環境土木学科</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2,040
単位時間</td><td>1,496
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>476
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>68
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,040 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	6 人	0 人	2 人	6 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。
当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
（概要） **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １　社会に貢献する姿勢 ２　職業人としての能力 ３　専門的知識・技能を活用する能力 ４　コミュニケーション能力 ５　情報収集・分析力 **卒業・進級要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業・進級要件の認定に基づき、本校卒業・進級判定会議の議を経て卒業・進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 （100%）	0 人 （ 0%）	4 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）
ナカンヌ興業 株式会社/一般社団法人沖縄しまたて協会/株式会社 MAQ/
株式会社 沖永開発

（就職指導内容）
- 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。
- カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））
2 級土木施工管理技士補（7 名）/測量士補（2 名）/2 級造園施工管理技士補（7 名）/
2 級建築施工管理技士補（2 名）/積算士補（3 名）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%

（中途退学の主な理由）
就職が決まった為（公務員技術職）

（中退防止・中退者支援のための取組）
- 将来、保持出来る国家資格取得に向けて学生生活で明確な指針を実施しています
- 学生と信頼関係を構築する(先輩後輩としての関係)
- オープンスクールなどで学科説明におけるミスマッチが起きないよう実績開示を行っている（資格取得率、就職率など）
- 中退者については退学後もしばしば相談にくる者おり、就職であればサポートしています。

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">環境建築学科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2,040
単位時間</td><td>1,224
単位時間</td><td>68
単位時間</td><td>748
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2,040 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
24 人	13 人	0 人	2 人	9 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。
当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
（概要） **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １　社会に貢献する姿勢 ２　職業人としての能力 ３　専門的知識・技能を活用する能力 ４　コミュニケーション能力 ５　情報収集・分析力 **卒業・進級要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業・進級要件の認定に基づき、本校卒業・進級判定会議の議を経て卒業・進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 （100%）	0 人 （　0%）	3 人 （　60.0%%）	2 人 （　40.0%）

（主な就職、業界等）
有限会社長嶺総合設計/一般社団法人沖縄しまたて協会/有限会社Kでざいん

（就職指導内容）
- 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。
- カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））
測量士補（2 名）/建築積算士補（2 名）/2 級建築施工管理技士第 一次検定（7 名）/色彩検定 3 級（5 名）/福祉住環境コーディネーター3 級（2 名）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
カウンセリングや学生・保護者・担任による三者面談を行う中で、学生に適切な指導・助言・相談等を行っている。

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">工業</td><td>工業専門課程</td><td colspan="2">IT 総合学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1,836
単位時間</td><td>357
単位時間</td><td>289
単位時間</td><td>1,190
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1,836 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	16 人	0 人	1 人	5 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の内容

・科目コード　・科目名　・履修時間　・開講学期
・対象学年　・担当教員　・科目区分　・講義コマ
・授業形態　・単位数　・実務経験　・授業のねらい
・授業の展開計画　・履修上の注意事項　・評価方法　・テキスト（教科書）
・参考文献　・その他

授業計画（シラバス）の作成過程

・シラバス点検部会がシラバス記載項目を検討
・教務委員会でシラバス作成依頼一式を確認
・教務部が全教員にシラバス作成を依頼（シラバス作成ガイド等を送付）
・全教員が教務部にシラバスを提出
・シラバス点検部会がシラバスを点検し、不備があるシラバスの再提出を依頼
・該当教員が教務部にシラバスを再提出
・シラバス点検部会がシラバスを再点検
・シラバス完成

授業計画の作成・公表時期

作成時期　12 月中旬～2 月下旬
公表時期　 4 月

成績評価の基準・方法

（概要）

単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法（成績評価の方法・基準）に基づき、科目担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。
当該科目の標準的な達成レベルを学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法（試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他）と評価配分（%）を行っている。

卒業・進級の認定基準
（概要） **卒業認定・学位授与の方針** 校訓に基づく教育指導方針を踏まえ、次に掲げる能力を備え、社会に貢献できる人材を育成し、本校学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ単位を修得した学生に対し、専門士の称号を授与する。 １　社会に貢献する姿勢 ２　職業人としての能力 ３　専門的知識・技能を活用する能力 ４　コミュニケーション能力 ５　情報収集・分析力 **卒業・進級要件** 当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている。 **卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況** 上記の卒業・進級要件の認定に基づき、本校卒業・進級判定会議の議を経て卒業・進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任制により、講義の理解に対する悩み、学園生活の悩みなど学生一人ひとりに対してきめ細やかなフォローを行っている。 学費納付については、本校独自の「学費等の分割・延納納入制度」を設けてサポートを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 （100%）	3 人 （　27.3%）	5 人 （　45.5%）	3 人 （　27.3%）

（主な就職、業界等）
株式会社拓商/朝日株式会社/株式会社プラスナレッジ/ゼビオホールディングス株式会社/株式会社 NTT データスマートソーシング/沖縄国際大学産業情報学部産業情報学科

（就職指導内容）
- 就職アドバイザーを置き求人に関しての情報を一括管理し、担任を通して関係する学科に情報を提供している。
- カリキュラムでビジネスマナーの講義を取り入れ、実務経験のある教員を招き履歴書・面接指導を実施している。その他女性に対しての就職用のメイクアップ講習、社会人として、また就職意識を高めるための有識者講演会、自信を持って面接に望むためのスーツ着こなし講座を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））
IT パスポート（1 名）/日本語ワープロ検定試験 2 級（1 名）/
情報処理技能検定試験 2 級（8 名）/ソーシャルマナー3 級（10 名）/
情報処理技能検定試験 1 級（1 名）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	4 人	16.0%

（中途退学の主な理由）
・体調不良のため（2 名）
・別の専門学校への進学（1 名）
・大学進学の為（一般受験）（1 名）

（中退防止・中退者支援のための取組）
カウンセリングや学生・保護者・担任による三者面談を行う中で、学生に適切な指導・助言・相談等を行っている。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
生物工学科	120,000円	850,000円	110,000円	その他の費用は教科書代・教材費・諸行事代・教育活動費を含む
環境生態学科	120,000円	850,000円	105,000円	
環境土木学科	120,000円	820,000円	110,000円	
環境建築学科	120,000円	820,000円	110,000円	
IT総合学科	120,000円	820,000円	100,000円	

修学支援（任意記載事項）

- 特待生制度
- 学費等の分割・延納納入制度
- 離島・県外支援制度
- 日本学生支援機構　修学支援新制度（授業料等減免）
  出身高校で手続きをされた給付型奨学金の採用候補者には、『大学等奨学生採用候補者決定通知【進学先提出用】』で区分の確認ができた学生を対象に、入学前に授業料等減免後の前期学費を納入してもらう。すでにお支払い頂いた学納金の場合は、入学後に減免分を還付する。

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

1. 2月下旬までに重点目標達成状況項目ごとの総合評価成果・課題分析を終え（自己評価報告書）、3月中旬ごろに学校関係者評価委員会を開催する。
2. 学校関係者評価委員会で挙がった意見、改善点等を次年度の自己評価の重点項目、評価項目等に取り入れる。
3. 3月下旬には学校関係者評価報告書の作成を終え、学校関係者評価委員へ配布並び、本校ホームページへの掲載準備を行う。2024年3月31日までにホームページへ掲載する。
4. 学校関係者評価委員の任期は2年間とする。学校関係者評価委員は、本校が設置している学科に関係している業界、卒業生及び学識経験者から選任し、合計4名とする。
5. 学校関係者の主な評価項目は以下の通りである。
   ①　教育理念
   ②　学校運営
   ③　教育活動
   ④　学修成果
   ⑤　学生支援
   ⑥　教育環境
   ⑦　学生の受入れ募集
   ⑧　財務
   ⑨　法令等の遵守
   ⑩　社会貢献・地域貢献
   ⑪　国際交流

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
合同会社ネットクリエイト	R5.1.1～R6.12.31	企業等委員
一級建築事務所チームデザイン	R5.1.1～R6.12.31	卒業生
コリント企画室	R5.1.1～R6.12.31	企業等委員
株式会社沖縄環境科学研究所	R5.1.1～R6.12.31	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.sci-tec.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.sci-tec.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H147332600035
学校名（○○大学 等）	学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人南星学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		28人	28人	56人
内訳	第Ⅰ区分	16人	16人	
	第Ⅱ区分	6人	7人	
	第Ⅲ区分	6人	5人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				56人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	9人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	9人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。